

教科目名 地理 (Geography)

学科名・学年 : 全学科 3年

単位数など : 必修 2単位 (前期 1コマ, 後期 1コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 村田剛一

授業の概要			
世界の各地域について自然地理学のおよび人文地理学的に学び, 地球的視点から多面的に物事を考える力を身に付けることができるように授業を展開する.			
達成目標と評価方法			大分高専目標(A1)
(1) 世界の各地域の特性を, 自然と人文の関わりの中で理解する. (定期試験)			
(2) 世界の中の日本の立場と役割を理解する. (定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	世界の地形	○大陸や大洋の地形について理解できる. ○プレートテクトニクス理論, 古期・新期造山帯, 安定陸塊について理解できる. ○山地の地形, 火山, 侵食地形などについて理解できる. ○侵食平野・堆積平野, カルスト地形などについて理解できる. ○気候要素・因子について理解できる.	【理解の度合い】
2	大陸と大洋		
3	大規模な地形をつくる地殻変動		
4	プレートテクトニクス, 造山帯		
5	山地の地形, 火山		
6	平野・高原の地形		
7	海岸の地形		
8	世界の気温と降水量		
9	前期中間試験		【試験の点数】 点
10	前期中間試験の解答と解説	○大気大循環, 偏西風・貿易風・極偏東風, 大陸性・海洋性気候, 東岸・西岸気候などについて理解できる. ○地下水, 海流の名前・分布・影響などについて理解できる. ○気候の変化に伴う植生の変化, 成帯土壌と間帯土壌などについて理解できる.	【理解の度合い】
11	大気大循環と気候		
12	水の循環と気候		
13	気候と陸水		
14	気候と植生		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
16	前期期末試験の解答と解説	○アメリカの各地域の地形・気候の特色を理解できる. ○アメリカの住民構成・植民の歴史・人種や民族, そして, 各地域の産業・農業・社会生活について理解できる. ○気候区分の基準・特色を理解できる. ○熱帯気候, 乾燥帯気候の特色・種類・地域を理解できる.	【理解の度合い】
17	アメリカの自然環境		
18	アメリカの住民と文化		
19	アメリカの経済と産業		
20	アメリカの社会と生活		
21	世界の気候区分		
22	熱帯の自然環境		
23	乾燥帯の自然環境		【試験の点数】 点
24	後期中間試験	○温帯気候, 冷帯気候, 寒帯気候の特色・種類・地域を理解できる. ○気候・植生・土壌の対応を理解できる. ○韓国の地形・気候・文化・経済について理解できる. ○民族と国家領域, 排他的経済水域などについて理解できる. ○北方領土, 竹島などについて理解できる.	【理解の度合い】
25	後期中間試験の解答と解説		
26	温帯の自然環境		
27	冷帯・寒帯の自然環境		
28	韓国の自然と生活・文化		
29	韓国の産業経済と都市		
30	現代世界の民族・領土問題		【試験の点数】 点
31	日本の領土と領土問題		
32	後期期末試験		【試験の点数】 点
33	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意		しっかり復習すること.	【総合達成度】
教科書		山本正三ほか著, 『詳解地理B』・『詳解現代地理』, 二宮書店.	
参考図書			
自学上の注意		授業内容をそのつど復習すること.	
関連科目		現代社会, 政治・経済, 日本史, 世界史.	
総合評価		4回の定期試験により評価する. 評価が 60 点以上を合格とする. 再試験は, 総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する.	